

	学校関係者評価に基づく改善策
I 教育理念・目標	社会的な支援策が乏しいグレーゾーンの学生の教育機関としての役割を十二分に担っていたことから、引き続き継続してゆく。
II 学校運営	学生サービスが基本である事をより認識し、課題はある場合は、職員会議等で報告・相談などを行う。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、産業医との連携により支援体制の総合力を高めていることからより学生が活用をして行ける様に学生、保護者に周知してゆく。
III 教育活動	学生の特性を考え、社会生活をして行く上での、教育体制を基本に職員研修の成果を上げてゆきインターンシップを活用して企業連携を図っている面を就労に結びつけて行けるように計画的な教育活動をしてゆく。
IV 学修成果	進路担当とクラス担任が協力して、個別に対応しているが、就職に向けて学生ひとりひとりが自主的に動く事が出来る様に支援する、卒業生の職場を訪問するなど今後も継続してゆく。
V 学生支援	いままで通りの取り組み方の上で可能な範囲でグレードアップしてゆく。
VI 教育環境	令和8年3月に休校になる事から環境整備は工夫しながら対応してゆきたい。
VII 学生募集	
VIII 財務	
IX 法令等の遵守	いままで通り遵守してゆく。
X 社会貢献等	学生と職員で学校近隣のごみ拾いなど継続できる事は継続をしてゆく。